

令和7年 第2回サービス部会運営委員会議事録

日時 令和7年8月8日(金) 11時00分～
場所 ネットヨタ熊本株式会社 本社
出席者 井上 雄一郎 担当理事(所用の為欠席)
中山 英治 運営委員長 小辻 貴裕 副運営委員長 黒木 良一 副運営委員長
工藤 浩則 委員 工藤 真二 委員 金澤 英顕 委員 渡邊 和憲 委員(代理)
和哥山 誠 委員(代理) 茅野サービス課長(ネットヨタ熊本)
九州運輸局熊本運輸支局首席陸運技術専門官 馬場 晋 首席
一般社団法人 熊本県自動車整備振興会 緒方 勝行 専務理事
㈱熊日広告社 佐藤 直樹 課長 入江 潤一郎 様
事務局 松本 伸二 専務理事 桑原 文武 次長 住本 未佳 課長

○中山運営委員長 議事進行

議題1、熊本県下新車ディーラー整備士の魅力発信イベントについて

㈱熊日広告社 佐藤課長より説明

前回の運営委員会より、デザインについては昨年と同様、「自動車整備士になれますか？」の文言を使用し、協賛として(一社)熊本県自動車整備振興会のQRコードを追加印字した。リーフレット、クリアファイルを熊本県の全高校の生徒を対象とした場合、見積り合計 4,888,400 円となり、予算を大幅にオーバーする為、絞り込む方向で協議がなされた。

各委員からの意見として、工業高校のみを対象にする案や工業高校にクリアファイル、普通高校にはリーフレットのみを配布する案、その他、Instagram広告費用 1 年 12 か月分(120 万)を 6 ～8 ヶ月等にする案、等いろいろな意見が出された。

結論として、今回の企画の趣旨である「文系でも、女の子でも、工業系でなくても自動車整備士になれますか？」とした企画内容を重んじ、普通高校にもリーフレットの配布をすることで意見が纏まった。

最終的には、自販連予算 250 万円+振興会予算 100 万円、合計 350 万円の予算内にて Instagramを 9 月から半年間(10 万円×6 ヶ月)とし、リーフレットは全校生徒向けに、クリアファイルを工業高校を優先的に配布する事とし、改めて見積書を作成していただく事とした。

議題2、自動運転車の検査員要件の強化における対応について

令和11年4月1より「レベル3以上」の自動運行装置を搭載した車両については、1級自動車整備士資格者が検査しなければならないとの事。(施行日時点でレベル3以上の車両を検査した実績のある整備工場は4年間の猶予あり)

・現在の各販売店の状況

レベル3以上の車両販売はほとんど無し。(ホンダモビリティ九州様において福岡で1台)

1級整備士試験の講師が不足している為、講習開催が難しい状況にある。

1級整備士 学科の合格率は30%ほどである。

○熊本県自動車整備振興会 緒方専務理事より

- ・1級資格者を確保するにあたり、まず学科試験を受けてから講習を受けるほうが効率が良い。
- ・各販売店様より不足している講師のご協力(派遣)をお願いしたい。
- ・振興会会員の自動車整備工場(自販連会員以外)が「1級会」を作り九州工科で講習を実施している。これに参加できるよう声掛けをしてみる。

議題3、各指標について

新車新規 OSS 登録台数一覧表 2025 年 1～7 月

OSS継続検査一覧表 2025 年 1～7 月

新車登録下旬比率一覧表 2025 年 1～7 月

新車登録月末 4 日間比率一覧表 2025 年 1～7 月

販社別登録書類完備率 2025 年 1～7 月分

車検費用に対する法定費用の即時回収率 2025 年 1～6 月

○その他 運輸支局 馬場首席より

- ・自動車整備事業者のための社会科見学受入れマニュアル・事例集
- ・自動車整備事業者のための高校生向け仕事体験学習(インターンシップ)受入れマニュアル・事例集

○次回開催予定 事務局より日程調整し連絡する。

以上で、第3回サービス部会運営委員会は終了した。

令和7年サービス部会工場見学会議事録

日時 令和7年8月8日(金) 11時00分～
場所 ネットヨタ熊本株式会社 本社
出席者 井上 雄一郎 担当理事(所用の為欠席)
中山 英治 運営委員長 小辻 貴裕 副運営委員長 黒木 良一 副運営委員長
工藤 浩則 委員 工藤 真二 委員 金澤 英顕 委員 渡邊 和憲 委員(代理)
和哥山 誠 委員(代理) 茅野サービス課長(ネットヨタ熊本)
九州運輸局熊本運輸支局首席陸運技術専門官 馬場 晋 首席
一般社団法人 熊本県自動車整備振興会 緒方 勝行 専務理事
㈱熊日広告社 佐藤 直樹 課長 入江 潤一郎 様
事務局 松本 伸二 専務理事 桑原 文武 次長 住本 未佳 課長

1. 一般社団法人 日本自動車販売協会連合会熊本県支部
専務理事 松本 伸二 挨拶

2. 名刺交換会
熊本県球磨工業高等学校 大野 隆宏教諭
熊本県水俣高等学校 森 誠一郎教諭

3. 工場見学会
ネットヨタ熊本 本社工場にて
車検作業内容、工場設備、他 見学会(工藤常務、茅野課長からの説明あり)

4. 質疑応答

Q.教諭より…各ディーラーには営業所があると思いますが、入社後、転勤等がありますか？

A.採用時、又は新人研修後、本人希望を聞いてから拠点に配置する。

A. 自宅の通勤範囲(自宅1時間・25キロ以内等)

A. 九州内に店舗がある為、スキルアップ希望者には県外拠点にも配置する。

Q.教諭より…エアコン等整備が整っていますが、他に取組まれていることはありますか？

A. 殆どの店舗においては整備にはエアコン・クーラーシャッターが整っている。

A. 改装が間に合っていない店舗については猛暑手当として1万円支給や、ドリンクの配布等
を行っている。週末の土、日を月に1回、休日対応としている。

A.働き方改革に於いて基本、残業無し、有休消化を促している。

A. ペーパーレスを推進し、作業計画・記録は殆どPCにおいて対応している。

A. 有休年間15日、年間休日120日を基本としている。

A. 人材育成、スキルアップ研修、リーダーシップ研修等を実施。

希望があれば整備から営業へチャレンジ出来るような対応。

A. ブラザー・シスター制度(先輩が対応)を3年間実施し、人材育成、離職率を減らしている。

A. マネージメント研修、ディスカッション等(人材育成)の実施

A. 外国人の雇い入れも行っているが、出来れば地元の若い人を育てていきたい。

教諭より…外国人の方の受け入れ状況はどうですか？資格も取ってもらうのですか？

A. インドネシア・ベトナムの方へ、直接現地へ行って面接して採用している。

又、日本語を勉強してもらい、資格もとってもらう。永住権が取得できる。

教諭より…企業説明会を人吉において実施しており、学校に企業がクラスごとに入って頂き、説明会を行っているので、是非人吉に店舗がある販社は参加頂きたい。

販社より…TSMCへの就職を希望する生徒数は多いのですか？

A. 昨年6名中、2名が入社した。熊本県の施策として半導体産業を推している所ですが、工業系の学校に於いても生徒数が人員割れしている状況。

機械科も自動車メーカーへの就職希望者が減っている状況です。

販社より…企業として高校生を対象にどうやってアピールすればいいのか？

A. 5月の連休等、企業は休みでも学校は開いている状態なので、若手社員に帰郷手当を出して地元に戻り、高校に行って後輩と話をしてくる(先生に挨拶をして名刺をもらって来る)ようにという会社もありました。

先輩の生の声が高校生には一番響くと思う。同じ部活の先輩・後輩で同じ会社に入った事もある。

以上で、工場見学会は終了した。